

当院にてインプラント治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学口腔インプラント科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題名

口腔インプラント科における永久歯先天性欠如患者の動向及び欠如部位の解剖学的形態の調査

2. 研究目的

東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科を受診され、永久歯の先天性欠如がある患者様の動向を調査し、欠如部位における歯槽骨の幅・高さ、被せ物のスペース等の解剖学的特徴について明らかにすることを目的としています。

3. 研究方法

調査の対象となるのは、東京歯科大学水道橋病院口腔インプラント科を2006年4月～2022年1月まで受診し、永久歯の先天性欠如がある患者様です。

①診療録、パノラマX線、デンタルX線写真より情報(年齢、性別、欠如部位等)を取得し、対象期間においてどのような、患者様の動向があるのかを評価します。

②インプラント治療の検査として通常行なっている、コーンビームCT検査を使用し、欠如部位における歯槽骨の幅・高さおよび被せ物のスペースを計測します。

以上2点が明らかになれば、今後、同様の症状がありインプラント治療を必要としている患者様に適切な新規人工歯根の新しい形態の開発に寄与できると考えられます。

4. 研究期間

本研究の研究期間は、2022年3月18日～2025年3月31日です。

5. 研究により得られた結果等の説明に関する方針

学会および論文の投稿の公表をもって患者様への説明にかえさせていただきます。

6. 個人情報等の取り扱い

個人識別情報の管理は、情報管理責任者がその保管場所に厳重に保管いたします。またデータ解析に使用した情報、資料は研究責任者が5年間保管した後、廃棄いたします。

7. 研究に関する情報公開の方法

研究結果は、日本口腔インプラント学会または日本補綴歯科学会等で報告するとともに、海外雑誌への論文投稿を予定しています。個人情報の管理は、上記のとおり厳重に行い、識別されることはありません。

ん。

8. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

検査項目は、通常のインプラント治療にて行う検査項目ですので、新たに生じる負担、リスク、不利益はありません。

9. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

10. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

11. 費用等に関すること

新たに発生する費用負担、謝金はありません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 口腔インプラント学講座

研究責任者（試料・情報管理責任者） 小田由香里

連絡先 03-5275-1760